

市会

とことん
調査・懇談

いつでも
市民と共同

鋭い
論戦・提案

市政を動かす

18人(第2党)の
日本共産党京都市議員団



命・くらし を守る

今年も守った「敬老乗車証」



敬老乗車証改悪反対宣伝行動、署名提出

敬老乗車証を「乗るたびに運賃を払う制度」に改悪する方針に反対し、「敬老乗車証を守ろう連絡会」や広範な市民のみなさんと共同して「敬老乗車証家計簿調査」を実施。12次にわたる署名提出行動で3万7千筆を超える署名を提出。こうした運動の中で、今年も敬老乗車証制度の改悪をストップ。

今年3月から

就学援助を受けている新入学児童生徒学用品費の 入学前支給が実現



住環境を を守る



東山で民泊実態調査



1月27日 民泊シンポジウム

「違法民泊」は許さない

党議員団は、「違法民泊」の実態調査、「住民のための『民泊』対応ハンドブック」発行、3度にわたる民泊シンポジウム・報告会の開催などに取り組んできました。市民の住環境を守るために、住民のみなさんと共同して、住民合意のない計画を撤回させています。

景観破壊に共同して対決！

京都市は、世界遺産の下鴨神社バッファゾーンへのマンション建設を容認。二条城の松を伐採して大型観光バス駐車場を建設。京都市美術館のネーミングライツを京セラに売却し「優先利用権」を与える。市民の共有財産・学校跡地に次々ホテル誘致などを推進。党議員団は市民と共同して対決。

ムダな大型事業を市民の立場からストップ

- 焼却灰溶融施設ストップに追い込む。
技術的に未完成、総事業費175億円と毎年の運転経費20億円の事業。
- 市内高速道路3路線ストップ、総事業費2900億円。

市会第2党 市民の声をまっすぐ議会へ

- 党議員団の請願紹介 85.4% (48件/55件)
- 党議員団は、市長の福祉切り捨て・まちこわし提案にきっぱり反対
自民・公明・国民みらい(旧民進)は市長提案にすべて賛成
- 市民に寄りそい生活相談 3年間で6500件以上

積極提案

予算の組み替え(2018年予算市会)

大型事業見直せば、くらしの予算はできます。

「財政がきびしい」と言いながら…

膨れあがる大型開発事業予算

2018年度予算

投資的経費(公共事業など) この10年間で最高 (870億円)

さらに将来に莫大なツケ 地元負担・市民負担も不明のまま
堀川地下バイパストンネル 北陸新幹線 リニア新幹線
大津方面(国道1号)亀岡方面(国道9号) バイパス構想

子どもの医療費 通院も無料化を

中学校
卒業まで

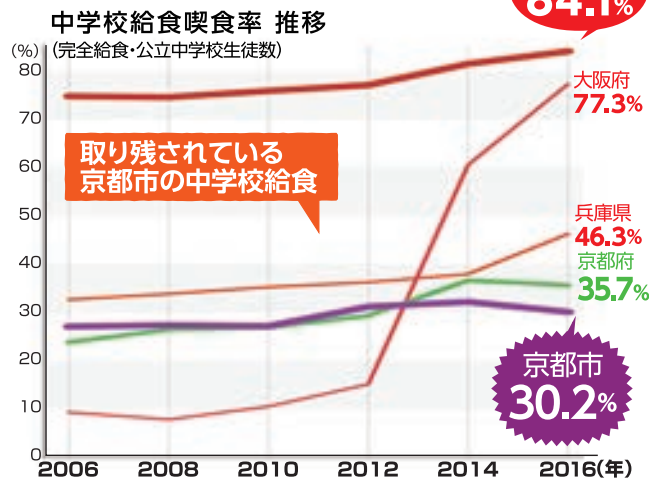
府市協調で
市負担9億円で
できます

3歳になると、通院は月3000円まで自己負担。京都市は京都府内で最も遅れています。府の制度に自治体独自に上乗せを行っていないのは京都のみ。

※市長も「31年度中の拡充」を表明(5月市会)

全員制のあったかい

中学校給食の実現を



文部科学省「都道府県別中学校給食実施状況(公立中学校生徒数)」と京都市教育委員会資料より日本共産党京都市議員団作成・毎年5月1日(京都市は年度平均)

有料指定袋は、毎年約11億円の黒字。財源はごみ減量に直接関係のない事業にも使われています。

大阪北部地震

党市議団、「緊急対策」 (一次・二次)申し入れ



- 学校をはじめ公共施設のブロック塀の調査・点検、安全確保を通学路の安全確保を
保育園等の建物被害、ブロック塀対策への支援を
- 屋根被害への復旧支援。住宅再建のための支援金を
- 支援制度について一覧表を作成し、被災者に寄りそった丁寧な相談を。罹災証明の速やかな発行を
- 高浜・大飯原発の稼働停止の要請を